

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	生物学				担当教員名	稲津 正人			
実務経験等		大学医学部教授として薬理学の教育に従事し、基礎医学の教育研究の経験をもとに、当該科目の教育を行う。									
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	60時間	単位数	4単位	区分	必修
授業概要		「生物学」のテキストを中心に対面授業で30回実施し、31回目にテストを実施し、この効果を図る。									
到達目標		生体内の物質の流れと働きについて、物質の代謝を中心に知識を習得する。									
使用教材		解剖生理 医歯薬出版 7590					評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	人体の構成細胞					16	心筋の基本的性質				
2	人体の構成体液と恒常性					17	刺激伝道系				
3	人体の構成組織					18	心臓の活動と検査				
4	人体の構成器官系					19	動脈・静脈・毛細血管				
5	神経系と神経組織 1					20	肺循環・体循環				
6	神経系と神経組織 2					21	各部位の循環				
7	中枢神経系の構造と統合機能					22	胎児の血液循環				
8	中枢神経系・大脳、間脳					23	血圧とその調節				
9	中枢神経系・脳幹、小脳					24	血圧調節・リンパ系				
10	中枢神経系・脳波と睡眠、脊髄					25	血液とその成分				
11	伝導路と運動調節 1					26	赤血球と白血球				
12	伝導路と運動調節 2					27	血小板と止血機構				
13	伝導路と運動調節 2					28	生体防御機構				
14	循環系・動脈・静脈・毛細血管					29	免疫に働く液性因子				
15	心臓の構造					30	様々な免疫応答				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	言語によるコミュニケーション(英語)	担当教員名	富澤 和子						
実務経験等	東洋療法科・救急救命科にて20年以上にわたり医療英語を担当。また、看護学校や高等学校においても英語教育に携わり、その経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	医療従事者として、スタッフや患者様と十分な意志疎通ができることが求められる。自分自身の考えを言語で表現し、他人の言語による表現を正しく理解するため、文章を書く・読む等の作業を中心とした授業を実施する。また、東洋医学・西洋医学に関わる用語を学ぶことで、その使い方を理解させる。										
到達目標	医療に関する英語の基礎を習得して、施術現場で外国人患者とのコミュニケーションを円滑に進めることのできる英語運用能力を身につける。										
使用教材	『医療英語コミュニケーション』(医療・福祉英語検定協会) 『キクタンメディカル 1. 人体の構造編』(アルク)						評価方法	終了時試験(ペーパーテスト)			
授業内容											
1	Chapter 1 受付 (受付での患者対応、医療従事者の名称)					9	Chapter 10 検査と処置 (検査・処置時に使用する表現)				
2	Chapter 2 病院内 (診療科名、方向・位置関係の表現)					10	Chapter 12 整形外科・整骨院 (骨の名称、整形外科診療で使用する表現)				
3	Chapter 3 症状(1) 痛み (体の部位、痛みの種類、痛みの訴えを聞き取る表現)					11	Chapter 13 リハビリテーション(1) (リハビリテーションプログラム作成時に使用する語彙)				
4	Chapter 4 症状(2) その他 (様々な症状の問診)					12	Chapter 14 リハビリテーション(2) (装具・義肢の名称、筋肉の名称)				
5	Chapter 5 問診(1) 既往歴・家族歴 (病名、既往歴・家族歴の問診)					13	Chapter 15 鍼灸院での治療 (鍼灸治療で使用する表現)				
6	Chapter 6 問診(2) アレルギー・生活習慣 (アレルギー・生活習慣の問診)					14	Chapter 17 処方箋と薬の説明 (薬の名称、服用時・服用指示に関する語彙)				
7	Chapter 7 内科(1) 身体計測・診察時の表現 (身体計測に関係する単語、診察時の患者への指示)					15	Chapter 18 カルテ (カルテで使用される略語)				
8	Chapter 8 内科(2) バイタルサインの計測 (医療器具の名称、バイタルサインの測定)										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	言語によるコミュニケーション(現代国語)			担当教員名	木村 智浩				
実務経験等	中学校、高等学校（国語）講師として20年勤務。小論文指導の経験から、他人にわかりやすく、的確に伝えることのできる文章力が身につく授業を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	医療従事者として、スタッフや患者様と十分な意志疎通ができることが求められる。自分自身の考えを言語で表現し、他人の言語による表現を正しく理解するため、文章を書く・読む等の作業を中心とした授業を実施する。また、東洋医学・西洋医学に関わる用語を学ぶことで、その使い方を理解させる。										
到達目標	社会人としてはもちろん、現場において必要な文章力や表現力、他者に分かりやすい記録の方法などを学び、論理的な文章が書けるようになる。										
使用教材	テキストは使用しない。適宜プリントを配布する。授業中は国語辞典(電子辞書可)を用意しておくことよ。						評価方法		出席・課題		
授業内容											
1	オリエンテーション・グループワーク					9	論理的文章の書き方(3)				
2	作文と小論文の違いについて					10	論理的文章の書き方(4)				
3	口語と文語の違いについて					11	論理的文章の書き方(5)				
4	文章の表記について					12	文章の推敲について				
5	文章の表現について					13	敬語の使い方(1)				
6	文章の構成について					14	敬語の使い方(2)				
7	論理的文章の書き方(1)					15	既習事項の復習とまとめ				
8	論理的文章の書き方(2)										
特記事項	積極的な発言を期待します！										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	保健体育(前期)			担当教員名	小川 銀順				
実務経験等	かみながや鍼灸院.整骨院勤務4年 鍼灸師あんまマッサージ指圧師										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	保健体育を学ぶことで科学的・理論的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動力を培う。また、運動を通して患者への適切な対応に必要なコミュニケーション能力を養う。										
到達目標	心身の発達過程や保健・衛生の知識を習得し、健康な生活を営む為の能力を養う。										
使用教材							評価方法	出席・課題			
授業内容											
1	オリエンテーション					9	レクリエーション				
2	健康と体力とは レクリエーション					10	ストレッチ、筋トレ				
3	体力測定					11	ウォーキング、筋トレ				
4	セルフストレッチ					12	レクリエーション				
5	自体重筋力トレーニング					13	ポールストレッチ、ヨガ				
6	ウォーキング、筋トレ					14	縄跳び、筋トレ				
7	縄跳びエクササイズ					15	まとめ				
8	ウォーキング、筋トレレクリエーション										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	保健体育(後期)			担当教員名	小川 銀順				
実務経験等	かみながや鍼灸院.整骨院勤務2年 鍼灸師、あんまマッサージ指圧師										
年次	1学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	保健体育を学ぶことで科学的・理論的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と行動力を培う。また、運動を通して患者への適切な対応に必要なコミュニケーション能力を養う。										
到達目標	心身の発達過程や保健・衛生の知識を習得し、健康な生活を営む為の能力を養う。										
使用教材							評価方法	出席・課題			
授業内容											
16	目標決め、ボールゲーム					24	レクリエーション グループ決め				
17	ウォーキング、筋トレ					25	体幹トレーニング				
18	ペアストレッチ					26	ウォーキング、筋トレ				
19	グループ決めレクリエーション					27	ジム筋トレ				
20	ウォーキング、筋トレ					28	ジム筋トレ				
21	縄跳び、筋トレ					29	グループトレーニング				
22	レクリエーション					30	まとめ レクリエーション				
23	ヨガ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	解剖生理（筋骨）				担当教員名	木村 桃子			
実務経験等	<p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。</p> <p>現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。</p>										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	60時間	単位数	4単位	区分	必修
授業概要	運動器系の形態と構造および機能について理解させ、これを施術に応用する能力の基礎を養う。										
到達目標	鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師として求められる解剖学の基本的概念で骨、筋を理解させる。										
使用教材	公益社団法人 東洋療法学校協会 解剖生理 医歯 薬出版株式会社						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	ガイダンス、部位と骨名				16	下肢帯の骨格。寛骨、腸骨					
2	骨の作用、形状、分類、部位の名称				17	下肢帯の骨格。座骨、恥骨、骨盤					
3	骨の構造、発生、成長				18	大腿骨、膝蓋骨、脛骨					
4	骨連結、関節、靭帯				19	腓骨、足の骨、足弓					
5	関節の補助装置、関節の種類				20	股関節に作用する筋 1					
6	関節の運動、筋の付着				21	股関節に作用する筋 2					
7	筋の形状、肩甲帯				22	縫工筋、薄筋、大腿筋膜張筋					
8	肩甲骨、鎖骨、上腕骨				23	足趾に作用する筋					
9	橈骨、尺骨				24	椎骨、上下関節、椎骨の連結～環椎					
10	手の骨、肩甲骨に作用する筋				25	軸椎～尾椎					
11	菱形筋、ローテータカフ				26	胸郭					
12	棘上筋、肘関節の筋				27	背部の筋					
13	上腕筋、前腕屈筋群				28	胸部の筋、腹筋					
14	前腕伸筋群				29	頭蓋骨					
15	中手筋				30	顔面の筋					
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	解剖生理（神経・感覚）				担当教員名	庄田 元			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	60時間	単位数	4単位	区分	必修
授業概要	神経系、感覚器系の形態と構造及び機能について理解させ、これを施術に応用する能力と態度の礎を養う。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 末梢神経系の構造と機能について習得する。 内臓の自律神経性調節について習得する。 視覚器、平衡感覚器、味覚器、嗅覚器、皮膚の構造と機能について習得する。 										
使用教材	「解剖生理」医歯薬出版「からだが見える」メディックメディア						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	神経系とは					16	第3章 D 末梢神経系 1. 脳神経まとめ				
2	第3章 D 末梢神経系 2. 脊髄神経					17	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 1. 皮膚の構造と機能				
3	第3章 D 末梢神経系 2. 脊髄神経					18	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 2. 表在感覚 (4. 伝導路)				
4	第3章 D 末梢神経系 2. 脊髄神経					19	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 2. 表在感覚 (4. 伝導路)				
5	第3章 D 末梢神経系 2. 脊髄神経					20	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 2. 表在感覚 (4. 伝導路)				
6	第3章 D 末梢神経系 2. 脊髄神経					21	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 3. 深部感覚 (4. 伝導路) 5. 内臓感覚				
7	第3章 D 末梢神経系 2. 脊髄神経まとめ					22	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 6. 痛覚				
8	第3章 D 末梢神経系 3. 自律神経系					23	第4章 G 体性感覚と内臓感覚 6. 痛覚				
9	第3章 D 末梢神経系 3. 自律神経系					24	第4章 G 体性感覚と内臓感覚まとめ				
10	第3章 D 末梢神経系 3. 自律神経系					25	第4章 B 視覚				
11	第3章 D 末梢神経系 3. 自律神経系					26	第4章 B 視覚				
12	第3章 D 末梢神経系 3. 自律神経系まとめ					27	第4章 C 聴覚				
13	第3章 D 末梢神経系 1. 脳神経					28	第4章 D 平衡感覚				
14	第3章 D 末梢神経系 1. 脳神経					29	第4章 E 味覚 F 嗅覚				
15	第3章 D 末梢神経系 1. 脳神経					30	総まとめ				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	解剖生理（内臓）				担当教員名	稲津 正人			
実務経験等	大学医学部教授として薬理学の教育に従事し、基礎医学の教育研究の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	60時間	単位数	4単位	区分	必修
授業概要	「解剖生理」のテキストを中心に対面授業で30回実施し、31回目にテストを実施し、この効果を図る。										
到達目標	正常な体の仕組みについての知識を習得する。										
使用教材	解剖生理 医歯薬出版 7590						評価方法	筆記試験			
授業内容											
1	呼吸と換気、気道					16	摂食の調節機構				
2	肺の構造と機能					17	腎臓の構造と機能				
3	呼吸筋と呼吸運動					18	尿の生成と組成				
4	呼吸機能の測定、ガス交換					19	腎機能の測定				
5	ガス交換、酸素・二酸化炭素の運搬					20	体液pHの調節、排尿				
6	呼吸の調節					21	ホルモンの種類、内分泌系の特徴				
7	消化器系の構造と機能					22	視床下部と下垂体				
8	口腔・咽頭・食道の構造と機能					23	甲状腺と副甲状腺				
9	胃の構造と機能					24	膵臓・副腎				
10	胃液の働き					25	ホルモンによる体液の調節				
11	小腸の構造と機能					26	体温調節				
12	大腸の構造と機能					27	女性生殖器				
13	膵臓の構造と機能					28	男性生殖器				
14	肝臓・胆嚢の構造と機能					29	妊娠と発生				
15	腹膜と腹膜腔					30	生体のリズムと加齢変化				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	運動器実技				担当教員名	木村 桃子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	運動器系の構造を想起し、人体においてその位置・作用などを確認する技術を習得させる。										
到達目標	演習および解剖実習を通し、人体構造に関する知識の再確認、及び定着を図る。										
使用教材	公益社団法人 東洋療法学校協会 解剖生理 医歯薬出版株式会社配布資料						評価方法	実技試験			
授業内容											
1	全身のランドマーク					9	下肢の動き（股関節）				
2	上肢の動き（肩甲骨）					10	下肢の動き（股関節）				
3	上肢の動き（肩関節）					11	下肢の動き（膝関節）				
4	上肢の動き（肩関節）					12	下肢の動き（足関節・足趾）				
5	上肢の動き（肘関節）					13	下肢の動き（まとめ）				
6	上肢の動き（手関節・指）					14	試験対策				
7	上肢の動き（まとめ）					15	試験対策				
8	下肢の動き（骨盤）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	職業倫理学			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	各テーマに則った内容について、グループおよび個人で探究活動を行い、そのディスカッションを行う。資料は配布可能なものについては配布する。										
到達目標	あはき師に求められる倫理哲学及び福祉思想を確立し、医療従事者に相応しい人格形成が行われることを目標とする。 また、時代とともに変遷する社会保障制度を学ぶことで、これからのあはき師が果たすべき社会的な役割について考える。 あはき師についての各自が気になることを探究し、問題・課題をみつけて、それに対する情報を広く集め、問題・課題を解消する方法を模索する。そして職域を広げる可能性についても考える。										
使用教材	「社会あはき学 第3版」医道の日本社						評価方法	出席・課題			
授業内容											
1	あはき師の資格について					9	探究活動				
2	あはき師の業務について					10	探究活動				
3	施術所の広告について					11	探究活動				
4	あはき師の役割 高齢化社会					12	探究活動				
5	あはき師の役割 少子化社会・女性の健康管理					13	探究活動				
6	あはき師の役割 ストレス社会					14	探究活動				
7	あはき師の役割 スポーツ傷害					15	探求活動・発表				
8	あはき師の役割 QOLの向上										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学概論Ⅰ（前期）			担当教員名	上野 悠香				
実務経験等	はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師免許取得後、5年以上にわたり中医学研究所の研修生として中医学を学ぶ。現在は教職の傍ら、鍼灸院および往診にて臨床に携わる。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	あはき臨床を実践するにあたり必須となる東洋医学的考え方の基礎を学ぶ。										
到達目標	東洋医学の基礎（特に、生体物質である「気・血・津液・精」の生理と病理）を理解して記憶する。 東洋医学的な臨床を行う上で必須となる基礎固めを行う。										
使用教材	「新版 東洋医学概論」医道の日本社、配布資料						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	授業の概要、東洋医学について					9	津液の生理、津液の病理				
2	東洋医学の哲学：天神合一、陰陽学説、五行学説の概要					10	気血津液と診断法、気血津液の相互関係				
3	東洋医学の歴史、東洋医学による治療法、日本における東洋医学					11	人体における陰陽、体質診断				
4	東洋医学における身体、精の生理					12	神				
5	精の病理					13	病因論①（六淫）				
6	気の生理					14	病因論②（六淫以外、内生五邪）				
7	気の病理					15	生体物質のまとめ、病因論のまとめ				
8	血の生理、血の病理										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学概論Ⅰ（後期）				担当教員名	上野 悠香			
実務経験等	はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師免許取得後、5年以上にわたり中医学研究所の研修生として中医学を学ぶ。現在は教職の傍ら、鍼灸院および往診にて臨床に携わる。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	60時間	単位数	4単位	区分	必修
授業概要	あはき臨床を実践するにあたり必須となる東洋医学的考え方の基礎を学ぶ。										
到達目標	東洋医学の基礎（特に、臓腑の生理と病理）を理解して記憶する。 東洋医学的な臨床を行う上で必須となる基礎固めを行う。										
使用教材	「新版 東洋医学概論」医道の日本社、配布資料						評価方法		筆記試験		
授業内容											
16	気血津液精陰陽、病因の復習①					31	気血津液精の病理の復習				
17	気血津液精陰陽、病因の復習②					32	肝・胆の病理				
18	肝・胆の生理①					33	心・小腸の病理				
19	肝・胆の生理②					34	脾・胃の病理				
20	心・小腸の生理①					35	肺・大腸の病理				
21	心・小腸の生理②					36	腎・膀胱の病理				
22	脾・胃の生理①					37	臓腑の相互関係				
23	脾・胃の生理②					38	各病証の伝変（基礎病態、臓腑病証）				
24	肺・大腸の生理①					39	弁証論治とは 八綱弁証、気血津液弁証、臓腑弁証				
25	肺・大腸の生理②					40	六経弁証、衛気営血弁証、三焦弁証				
26	腎・膀胱の生理①					41	症例での弁証トレーニング				
27	腎・膀胱の生理②					42	臓腑の問題演習①				
28	心包・三焦の生理					43	臓腑の問題演習②				
29	奇恒の腑の生理・病理					44	後期内容の復習				
30	臓腑と気血津液精の関係					45	まとめ				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	はりきゅう理論Ⅰ			担当教員名	齋藤 美保				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	伝統ある東洋医学の基本概念を理解させる。										
到達目標	鍼灸の歴史、鍼・灸の意義、施術にあたってのリスク管理、鍼・艾などの道具に対する適切な知識を習得させる。										
使用教材	はりきゅう理論（医道の日本社）						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	オリエンテーション、鍼灸施術の意義と特徴、基礎知識				9	灸の基礎知識 艾について					
2	基礎知識				10	灸の基礎知識 灸術の種類					
3	刺鍼法の種類と刺鍼の術式、消毒法、前揉法、後揉法				11	灸術①隔物灸					
4	刺鍼法の種類と刺鍼の術式				12	臨床応用 刺激量、感受性、適応と禁忌					
5	刺鍼法の種類と刺鍼の術式				13	リスク管理—注意事項、過誤と副作用					
6	特殊鍼法				14	感染症対策					
7	特殊鍼法①低周波鍼通電療法（パルス）				15	艾作り					
8	特殊鍼法②耳鍼										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	経絡経穴概論（前期）			担当教員名	遠藤 水晶				
実務経験等	鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	授業はプロジェクターを使用し、レジュメに記入するスタイルで行う。										
到達目標	十四経脈の流注、経穴名、取穴に必要な体表区分と骨度法を理解し、取穴することを目指す。奇穴、奇経八脈も同様とする。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」医道の日本社配布レジュメ						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	オリエンテーション 経絡経穴とは				9	督脈・任脈 確認と単元テスト					
2	経絡経穴の概要 流注 骨度法				10	手の太陰肺経					
3	骨度法（単元テスト） 要穴				11	手の太陰肺経（単元テスト） 手の陽明大腸経					
4	要穴 解剖学的肢位 体表指標				12	手の陽明大腸経（単元テスト） 足の陽明胃経					
5	体表指標 督脈				13	足の陽明胃経					
6	督脈				14	足の陽明胃経（単元テスト）					
7	体表指標 任脈				15	督脈～胃経までまとめ 要穴					
8	任脈										
特記事項	単元ごとに確認テストを行い習熟度をはかる										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	経絡経穴概論（後期）				担当教員名	遠藤 水晶			
実務経験等	鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	演習	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	授業はプロジェクターを使用し、レジュメに記入するスタイルで行う。										
到達目標	十四経脈の流注、経穴名、取穴に必要な体表区分と骨度法を理解し、取穴することを目標とする。奇穴、奇経八脈も同様とする。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」医道の日本社 ・ 配布レジュメ						評価方法	筆記試験			
授業内容											
1	足の太陰脾経					16	足の少陽胆経				
2	足の太陰脾経（単元テスト）手の少陰心経（単元テスト）					17	足の少陽胆経（単元テスト）				
3	督脈～手の少陰心経まで復習					18	足の厥陰肝経（単元テスト）				
4	督脈～手の少陰心経まで復習					19	足の太陰脾経～足の厥陰肝経の復習①				
5	手の太陽小腸経					20	足の太陰脾経～足の厥陰肝経の復習②				
6	手の太陽小腸経（単元テスト）足の太陽膀胱経					21	奇経八脈				
7	足の太陽膀胱経					22	奇経八脈 要穴				
8	足の太陽膀胱経					23	奇穴				
9	足の太陽膀胱経（単元テスト）					24	奇穴				
10	足の少陰腎経					25	要穴表 要穴取穴				
11	足の少陰腎経（単元テスト）					26	要穴表（単元テスト）				
12	手の厥陰心包経（単元テスト）					27	腹部・背部横並び表				
13	手の少陽三焦経					28	腹部・背部横並び表				
14	手の少陽三焦経（単元テスト）					29	座学総まとめ①				
15	足の少陽胆経					30	座学総まとめ②				
特記事項	単元ごとに確認テストを行い習熟度をはかる										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎はり実技（前期）			担当教員名	齋藤 美保				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作を行うための手指・身体の使い方を学ぶ。										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作が行えるようになる。最終的には、解剖学的な知識に基づき身体各部へ安全な刺鍼を行うことができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版 医道の日本社 3100円+税						評価方法		実技試験		
授業内容											
1	鍼とは（ガイダンス）				9	刺鍼際の清潔動作と人体刺鍼の流れ（自分、ペア）体位の説明					
2	片手挿管と消毒の実際刺鍼動作の説明と実習				10	自身の下腿で刺鍼練習、相手の体への刺鍼練習					
3	片手挿管練習、刺鍼動作の説明と実習、切皮の説明と実習				11	自身の下腿で刺鍼練習、副反応への対処法復習、相手の体への刺鍼練習					
4	片手挿管練習、切皮～抜鍼までの説明と旋撚刺法による刺鍼の練習				12	刺鍼の練習(自分の下肢)患者へ刺鍼する際の注意事項					
5	片手挿管小テスト、刺鍼の際の清潔動作と人体刺鍼の流れ自分の足に刺鍼練習				13	刺鍼の練習(旋撚法・送り込み法)相手の体への刺鍼練習（下腿・腹臥位）					
6	いろいろなものへの刺鍼練習				14	刺鍼の練習(旋撚法・送り込み法)相手の体への刺鍼練習（下腿・腹臥位）					
7	自分の足に刺鍼練習				15	期末試験の練習					
8	タオルワーク練習 相手の体への刺鍼練習										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎はり実技（後期）	担当教員名	齋藤 美保						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作を行うための手指・身体の使い方を学ぶ。										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作が行えるようになる。最終的には、解剖学的な知識に基づき身体各部へ安全な刺鍼を行うことができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版 医道の日本社 3100円+税			評価方法	実技試験						
授業内容											
16	後期の説明、膝の解剖			24	肩背部への刺鍼						
17	膝周囲への刺鍼			25	中間試験						
18	有害事象への対応、下腿への刺鍼			26	斜刺・横刺（下腿内側、頭部）						
19	下肢及び動脈拍動部への刺鍼			27	顔面部への刺鍼						
20	上肢への刺鍼			28	坐位での刺鍼						
21	腰部への刺鍼			29	スムーズな刺鍼動作で身体各所へ刺鍼						
22	腹部への刺鍼			30	期末試験練習						
23	肩上部への刺鍼										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎きゅう実技（前期）				担当教員名	齋藤 美保			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな施灸動作を行うための手指・身体の使い方を学ぶ。										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に艾をひねることができ、正しく点火が行え、身体各部へ施灸することができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版 医道の日本社 3100円+tax						評価方法	実技試験			
授業内容											
1	灸とは（ガイダンス）、灸術の種類、艾と用具					9	ツボ(外関、四瀆)への自己施灸				
2	艾の捻り方（形、大きさ）					10	手陽明経(合谷、手三里、曲池)への自己施灸				
3	米粒大艾炷作成練習、灸温度測定					11	足三里への自己施灸、夏季課題出題				
4	米粒大、半米粒大艾炷作成練習					12	足陽明経への自己施灸				
5	艾炷作成、線香の扱い方と点火、自己施灸、緩和法					13	三陰交への施灸、前腕・下腿への自由施灸				
6	平面上への施灸練習、自己施灸					14	血海への交互施灸				
7	曲面への施灸練習、自己施灸					15	人体施灸の手順、振り返り				
8	前腕後面への自己施灸										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎きゅう実技（後期）				担当教員名	齋藤 美保			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作を行うための手指・身体の使い方を学ぶ。										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作が行えるようになる。最終的には、解剖学的な知識に基づき身体各部へ安全な刺鍼を行うことができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版 医道の日本社 3100円+税						評価方法	実技試験			
授業内容											
16	対人施灸の原則と注意、膝関節周囲への自己施灸					24	背部への施灸				
17	対人施灸：失眠への交互施灸					25	腰部への施灸1				
18	前腕陽経					26	腰部への施灸2				
19	下腿部陽経への施灸、灸温度測定					27	頭部への施灸				
20	上肢・下肢への施灸					28	全身施灸 1				
21	腹部への施灸					29	全身施灸 2				
22	肩部への施灸					30	まとめ、総括				
23	肩背部への施灸										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎あん摩実技（前期）				担当教員名	君嶋 眞理子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として40年以上の臨床経験がある。豊富な知識と経験、技術を活かした授業を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	あん摩の基本手技を的確の行うための手指・身体の使い方を学ぶ。										
到達目標	座位でのあん摩の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
使用教材	基礎あん摩・マッサージ・指圧実技（基礎編） 医道の日本社						評価方法	実技試験			
授業内容											
1	あん摩の用語/軽擦					9	座位 肩上部				
2	叩打法/曲手					10	座位 肩背部				
3	四指揉捏/手掌揉捏					11	座位 肩背部				
4	仰臥位 下肢前面					12	肩こりの手順 復習				
5	仰臥位 下肢前面					13	肩こりの手順 復習				
6	伏臥位 手掌揉捏					14	肩こりの手順 復習				
7	伏臥位 手掌揉捏					15	まとめ				
8	座位 肩上部										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎あん摩実技（後期）				担当教員名	君嶋 真理子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として40年以上の臨床経験がある。豊富な知識と経験、技術を活かした授業を行う。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	あん摩の基本手技を的確の行うための手指・身体の使い方を学ぶ。										
到達目標	座位でのあん摩の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
使用教材	基礎あん摩・マッサージ・指圧実技（基礎編） 医道の日本社						評価方法	実技試験			
授業内容											
16	座位 上肢					24	側臥位 腰臀部				
17	座位 上肢					25	側臥位 腰臀部				
18	座位 肩背部・上肢					26	側臥位 下肢				
19	座位 肩背部・上肢					27	側臥位 下肢				
20	側臥位 肩背部～上肢					28	側臥位 下肢				
21	側臥位 肩背部～上肢					29	側臥位 下肢				
22	側臥位 肩背部～上肢					30	まとめ				
23	側臥位 腰臀部										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎マッサージ実技（前期）	担当教員名	木村 桃子						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技：授業課題の説明・デモンストレーション後、二人組で練習										
到達目標	あま指理論で得た知識をもとにマッサージの基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。 相手への配慮を習得。										
使用教材	「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉第2版」 医道の日本社配布資料						評価方法		実技試験		
授業内容											
1	人体各部の名称とマッサージにおける心得(前期タルク使用)					9	上肢全体への手技				
2	タオルワーク マッサージの基本手技1					10	下腿前面・外側の手技				
3	マッサージの基本手技2					11	下腿後面・外側への手技				
4	前腕前側（屈筋群）の手技					12	下腿後面・外側への手技				
5	前腕後側（伸筋群）への手技					13	大腿前面・内側への手技				
6	手部への手技					14	大腿後面・外側への手技				
7	上腕への手技①（主に前面）					15	前期まとめ				
8	上腕への手技②（主に後面）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎マッサージ実技（後期）				担当教員名	木村 桃子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。										
年次	1学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技：授業課題の説明・デモンストレーション後、二人組で練習										
到達目標	あま指理論で得た知識をもとにマッサージの基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。 患者様の配慮を取得。										
使用教材	「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉第2版」 医道の日本社						評価方法		実技試験		
授業内容											
16	手部、前腕への施術（後期オイル使用）					24	腰部への施術				
17	上肢全体への施術					25	腰背部への施術				
18	下腿前面、外側への施術					26	背部全体（起立筋、広背筋）への施術				
19	下腿後面、外側への施術					27	僧帽筋、肩甲骨周りの筋群への施術				
20	膝部～大腿前面、内側への施術					28	肩部、頸部への施術				
21	大腿後面、外測への施術					29	まとめ・復習①				
22	タオルワーク確認、大腿部全体への施術					30	まとめ・復習②				
23	臀部への施術										
特記事項	授業時、施術を受けやすいように短パン、タンクトップなど必要使用タオル：大判2枚、中判1～3枚、手ぬぐい										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎指圧実技（前期）			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	指圧の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
到達目標	1年次には特に垂直圧ができるようになることを目指す。										
使用教材	あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>						評価方法	3回の実技試験と「基礎指圧のポイント」課題点の合計			
授業内容											
1	指圧の心構え・手指の使い方・身体の使い方・手のケア基礎指圧 仰臥位・下腿外側					9	伏臥位・肩甲間部				
2	仰臥位・下腿外側					10	伏臥位・肩甲間部 実技試験				
3	仰臥位・下腿外側					11	伏臥位・肩甲下部				
4	仰臥位・下腿外側					12	伏臥位・肩甲下部				
5	仰臥位・下腿外側 実技試験					13	伏臥位・肩甲下部				
6	伏臥位・肩甲間部					14	伏臥位・肩甲下部				
7	伏臥位・肩甲間部					15	伏臥位・肩甲下部 実技試験				
8	伏臥位・肩甲間部										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎指圧実技（後期）				担当教員名	庄田 元			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	指圧の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
到達目標	1年次には特に垂直圧ができるようになることを目指す。										
使用教材	あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>						評価方法	3回の実技試験と「基礎指圧ポイント」課題点の合計			
授業内容											
16	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					24	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢				
17	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					25	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢 実技試験				
18	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					26	側臥位 頸～肩甲間部				
19	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					27	側臥位 頸～肩甲間部				
20	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧 実技試験					28	側臥位 頸～肩甲間部				
21	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢					29	側臥位 頸～肩甲間部				
22	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢					30	側臥位 頸～肩甲間部 実技試験				
23	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	総合基礎実技				担当教員名	齋藤 美保			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	通年	種別	実技	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	2年次以降の臨床実習に向けて、臨床に必要なランドマークの確認、取穴、あんま・マッサージ・指圧、はり灸の基本的技術を学生同士で自律的に学習する。										
到達目標	臨床に必要なランドマークの確認、取穴、あんま・マッサージ・指圧、はり灸の基本的技術を修得する。										
使用教材							評価方法	出席・課題			
授業内容											
1	オリエンテーション					1 6	総合基礎実技				
2	3年生の患者役					1 7	総合基礎実技				
3	3年生の患者役					1 8	総合基礎実技				
4	3年生の患者役					1 9	総合基礎実技				
5	横浜開港祭の打ち合わせ					2 0	総合基礎実技				
6	3年生の患者役					2 1	総合基礎実技				
7	横浜開港祭					2 2	総合基礎実技				
8	横浜開港祭					2 3	総合基礎実技				
9	横浜開港祭					2 4	総合基礎実技				
1 0	横浜開港祭					2 5	総合基礎実技				
1 1	横浜開港祭					2 6	総合基礎実技				
1 2	横浜開港祭					2 7	2年生の患者役				
1 3	総合基礎実技					2 8	2年生の患者役				
1 4	総合基礎実技					2 9	2年生の患者役				
1 5	総合基礎実技					3 0	2年生の患者役				
特記事項											